

茨城県のCALS/EC「ITによる効率的な公共事業の執行に向けて」

↑ 茨城県が進めるCALS/ECの概要を掲載したパンフレットです。

1. CALS/ECとは

CALS/ECとは公共事業支援統合情報システムの略称で、一人一台のパソコンがインターネットにつながっている職務環境を前提として、「従来は紙で交換されていた情報を電子化するとともに、インターネットを活用して公共事業に関連する多くのデータベースを連携して使える環境を創出する取り組み」です

※¹CALS/EC(Continuous Acquisition and Life-cycle Support/Electronic Commerce)

事業のライフサイクル全般にわたる各種情報を電子化、標準化することにより、ネットワークを介して交換及び共有し、コストの縮減及び生産性の向上等を図ろうとする活動であり概念です。同時に電子的な商取引を可能とするものです。

3. CALS/ECの基本的な考え方

公共事業の調査、計画、設計、入札施工及び維持管理の、各事業プロセスで発生する図面、書類及び写真等の各種情報を電子化し、通信ネットワークを利用して、関係者間及び事業プロセス間で効率的に情報を交換、共有、連携できる環境を創出します。これによりコスト縮減、品質の確保、業務の効率化及び透明性の向上が図られます。



イメージ(JACICホームページより)

4. CALS/ECの主な内容

1) P P I (入札情報サービス)

発注予定情報、発注情報、入札結果を1ホームページにより一元的に入手、検索できるサービスの提供を行う。

2) 電子入札

公共事業の入札手続きをインターネットを介して行う。

3) 電子納品

業務及び工事の成果品(書類、図面、写真等)を所定の基準、要領等に基づいて電子化する。